

4 白い焼き物をつくりだした佐藤伊兵衛^{いへえ}

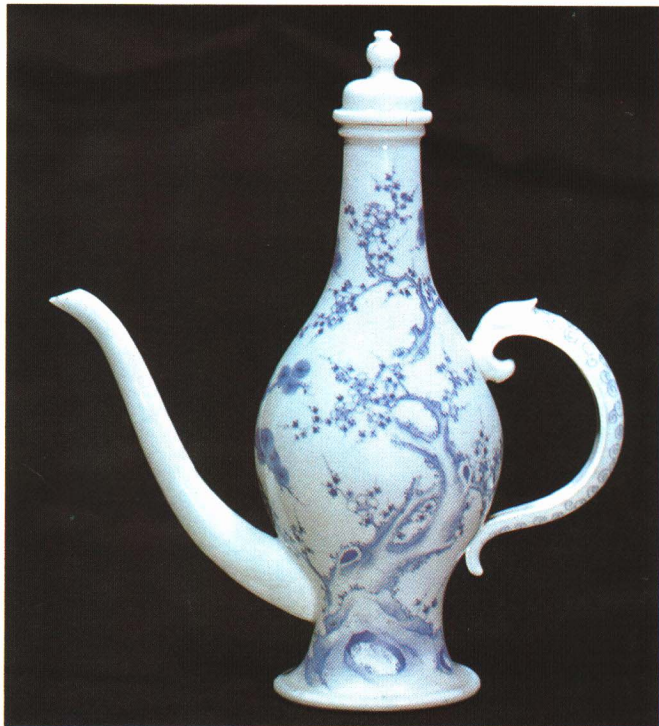
伊兵衛は、もと陶器^{とうき}をつくる職人^{しやくにん}でしたが、白い焼き物^{はくじ}（白磁）をつくることを夢^{ゆめ}みていました。

1800（寛政^{かんせい}12）年、伊兵衛は、有田^{ありた}（佐賀県）、京都^{きょうと}、尾張^{おわり}（愛知県）などで白いせと物のつくり方を学んで

帰^{かえ}り、会津本郷焼のすぐれた白磁を完成させました。



佐藤伊兵衛座像



白磁

そして、その技術^{ぎじゆつ}を多くの人々に教えました。今もその座像^{ざざう}が水野源左衛門とともに常勝寺^{けいだい}境内の陶祖廟^{とうそびやう}にまつられています。